

ふくおかのふくし

増刊号

2012.7

—Welfare of Fukuoka—



平成24年7月 九州北部豪雨災害 特集

浸水した家屋から泥をかき出す学生ボランティア
(みやま市災害ボランティアセンター)

平成24年7月九州北部豪雨災害 特集

1日も早い生活復旧をめざして

平成24年7月11日から14日にかけて九州北部を中心に発生した集中豪雨の影響で、福岡県内では、一時約70,000世帯、約20万人に避難指示が出されるなど、これまで経験したことがない大雨災害に見舞われました。

主な被害状況

人的被害：16件

・死者：4名、重傷：2名、軽傷：10名

家屋被害：6,935件

・住宅被害 全壊：84件、半壊43件、一部損壊：85件、床上浸水：1,306件、床下浸水：4,587件

・非住家被害 公共：37件、その他：793件

<福岡県防災危機管理局発表 平成24年7月27日現在>



洪水により崩落した橋（八女市）



河川の氾濫による被害（柳川市）



ボランティアによる瓦礫の撤去作業（八女市）

災害ボランティアセンター 立ち上げ

本会では、7月14日に、「福岡県社協災害救援本部」（本部長 富安節子 常務理事）を設置しました。

本救援本部では、大雨被害による各市町村社協の対応等について、全市町村社協に聞き取りを行いました。特に被害が大きく、災害救助法が適用された久留米市、柳川市、八女市、筑後市、うきは市、朝倉市、みやま市、広川町（朝倉市は7月3日の大雨災害から引き続き適用）を中心に現地調査を行うとともに、災害ボランティアセンター立ち上げ・運営の支援にあたりました。

力強いボランティア

県内6社協（久留米市、柳川市、八女市、筑後市、うきは市、みやま市）に設置された災害ボランティアセンターには、県内各地から延べ4,896名



ボランティアオリエンテーション
（うきは市災害VC）

（7月26日現在）のボランティアが駆けつけ、1日も早い復旧に向けた活動が進められました。

矢部川の堤防が決壊し、多くの家屋が浸水した柳川市三橋町中山地区では、7月22日（日）、県内の学生などおよそ180人のボランティアが、床上浸水した家屋の泥出しや、家具の移動など、家内の掃除を行っています。

矢部川の近くに自宅があり、床上浸水の被害を受けた方は「堤防が決壊してあつという間に家の中に水が入り込んできました。避難した近くの小学校か



ボランティアマッチング
(柳川市災害VC中山地区サテライト)

ら、浸水していく我が家の様子が見えて、本当に悲しくて、言葉も出ませんでした。家の片づきもどこから取り掛かって良いか分かりませんでした。ボランティアの皆さんたちが、連日泥まみれになりながら一生懸命片づけてくれて、本当に助かっています。心から感謝しています。」と話されました。

地元柳川市の専門学校に通うボランティアの学生は、「今回初めてボランティア活動に参加しましたが、力になれるか不安ですが、地元のために少しでも力になれたら」という言葉が印象



ボランティアに作業を依頼する被災者 (柳川市)

的でした。

被災した地域ではボランティアによる復旧活動が行われています。ボランティア一人ひとりの取り組みが、被災された方々の1日も早い生活復旧のための大きな力となっています。

社協職員の相互支援

災害ボランティアセンターが設置された6社協のうち、柳川市、八女市、うきは市の3社協からボランティアセンター運営の応援要請がありました。

これを受け、本会では被災地以外の市区町村社協に職員派遣を依頼し、23社協延べ71名(7月27日現在)の職員が現地に派遣されました。

派遣先ではニーズの受付やボランティアとのマッチングなど、災害ボランティアセンターの運営支援にあたっていただいています。

さらに、東日本大震災の復興で福岡県内の社協から支援を受けた福岡県社協および同県内の市町村社協から、今回の災害に対する支援の申し出があり、8月2日から八女市災害ボランティアセンターに4名の職員を派遣していただくことが決まりました。

被災地施設の

助け合い・連携

度重なる大雨により、各地で土砂災害が発生し、主要道路の封鎖や、電気・水道などのライフラインが断たれる被害も相次ぎました。

本会では社会福祉施設各種別

協議会と連携し、県内の福祉施設の状況調査に努めました。調査の中で、床上・床下浸水や断水といった被害が確認されましたが、施設職員による懸命な復旧活動や備蓄した食料で難を凌ぐなど、緊急時に備えた施設の素早い対応が見られました。

八女市星野村にある特別養護老人ホーム「星寿園」(社会福祉法人 星野村福祉会)では、洪水や土砂災害の影響で市内までの主要道路が崩落し、さらにライフラインが断たれ、一時孤立状態に陥りましたが、筑後地区老人福祉施設協議会(八女・筑後ブロック)が連携し、避難のために、すぐにでも入居可能な施設調査を行いました。

その結果、18日に救助のヘリコプター1機が出動し、入居者10人が市内にある特別養護老人ホーム八女の里(社会福祉法人八女福祉会)に搬送されました。入居者を受け入れた、八女の里施設長 松尾 宗敏さんは「このような緊急時に備え、今後とも地区の連携を強化していきたい」と話されました。

平成24年7月福岡県豪雨 災害義援金募集のお知らせ

受付期間 平成24年7月20日(金)から平成24年8月31日(金)まで

平成24年7月の大雨による被害のため、県内各地で死傷者・行方不明者等の人的被害や、家屋の全壊・半壊、多数の床上・床下浸水等、深刻な被害が発生し、県内7市1町（久留米市、柳川市、八女市、筑後市、うきは市、朝倉市、みやま市、広川町）に災害救助法が適用されました。

福岡県共同募金会では、県内各地の被災者を支援することを目的に義援金の募集を行っています。

◆義援金受入れ口座◆

金融機関	支店名	口座番号	口座名義
西日本シティ銀行	春日原支店 (003)	普通預金 1849232	福岡県共同募金会 7月豪雨 災害義援金
福岡銀行	春日原支店 (277)	普通預金 1827233	
ゆうちょ銀行	口座記号番号 01770-4-155		福岡県共同募金会 7月豪雨 災害義援金

※西日本シティ銀行、福岡銀行については、本店・支店間の窓口からの振込手数料が無料です。

※全国地方銀行協会加盟の銀行から福岡銀行への振込は手数料が無料です。

※ゆうちょ銀行の振替料金は、無料です。

※ATM及びインターネットバンキングを利用しての振込みは、手数料がかかりますのでご注意ください。

◆現金による送金◆

郵便局窓口で義援金送金を希望される場合は、あて名のところに「救助用」と明記いただければ、郵便料金が免除となります。

(あて名) 〒816-0804

福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ内

社会福祉法人 福岡県共同募金会

◆義援金の配分◆

福岡県共同募金会が取りまとめた義援金については、福岡県災害対策本部へ送金し、福岡県が設置する義援金配分委員会を通じて、原則として被災者に配分されます。

【問合せ先】 福岡県共同募金会

☎092 (584) 3388 FAX 092 (584) 3386



この広報紙は、一部共同募金の配分金を受けて発行しています。